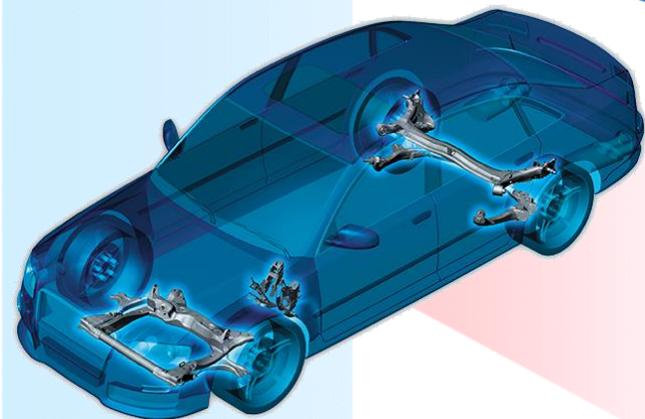


# 2021年3月期 第2四半期決算説明会

2020年11月6日  
株式会社エフテック  
代表取締役社長  
福田祐一

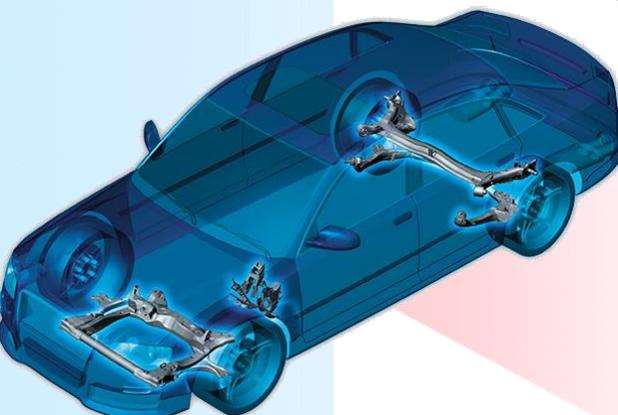


1 決算概要

2 業績予想

3 経営戦略

4 トピックス



1 決算概要

2 業績予想

3 経営戦略

4 トピックス

# 連結決算概要(前年同期比)

(単位:百万円)

	2020年3月期 2Q累計実績		2021年3月期 2Q累計実績		増減	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	112,355	100.0%	73,605	100.0%	▲38,749	▲34.5%
営業利益	2,129	1.9%	▲1,665	▲2.3%	▲3,794	▲178.2%
経常利益	1,515	1.3%	▲2,296	▲3.1%	▲3,812	▲251.6%
親会社株主に帰属する当期 純利益	▲127	▲0.1%	▲3,345	▲4.5%	▲3,218	-
1株利益(円)	▲6.82	—	▲179.38	—	▲172.56	-

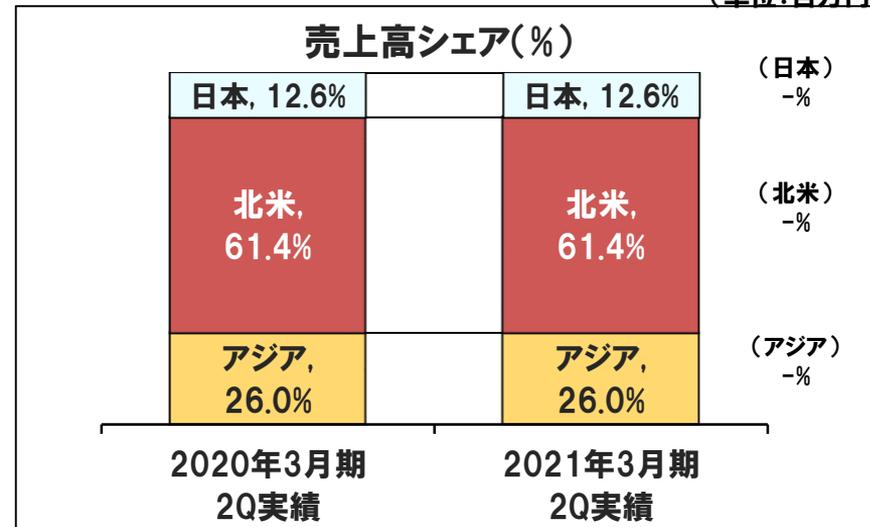
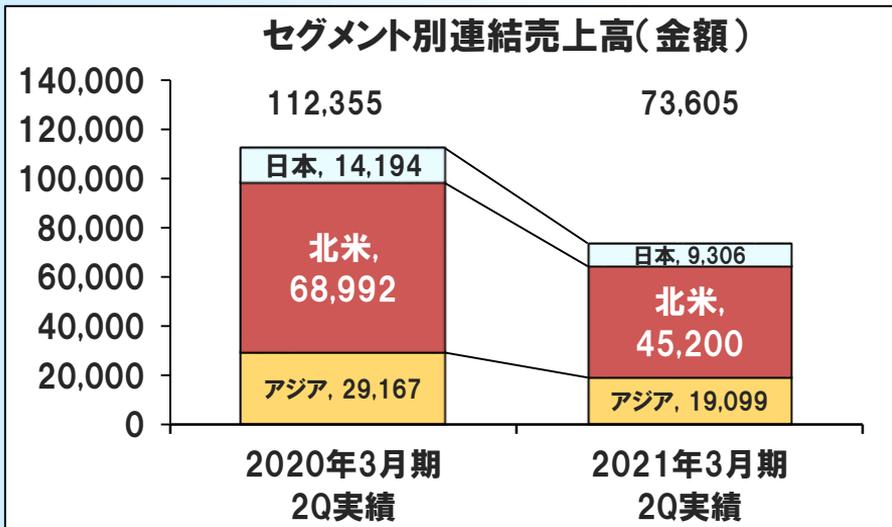
為替

	2020年3月期2Q	2021年3月期2Q	増減額
1US\$	108.68円	106.32円	▲2.36円
1CAN\$	81.72円	78.53円	▲3.19円
1人民元	16.23円	15.32円	▲0.91円

減収減益(新型コロナウイルス感染症影響が主要因)

# 連結売上高(前年同期比)

(単位:百万円)



## 連結売上高増減

	'20年3月期2Q	'21年3月期2Q	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	14,194	9,306	▲4,888	▲34.4%	—	▲4,888	▲34.4%
北米	68,992	45,200	▲23,792	▲34.5%	▲1,354	▲22,438	▲32.5%
アジア	29,167	19,099	▲10,068	▲34.5%	▲1,072	▲8,996	▲30.8%
<b>連結</b>	<b>112,355</b>	<b>73,605</b>	<b>▲38,749</b>	<b>▲34.5%</b>	<b>▲2,427</b>	<b>▲36,322</b>	<b>▲32.3%</b>

**新型コロナウイルス感染症により全セグメントで大幅減収**

# セグメント別営業利益(前年同期比)

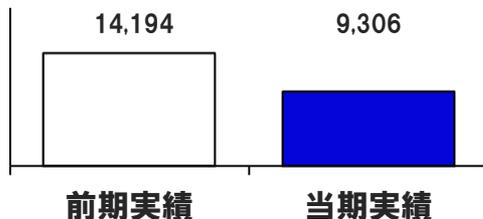
(単位:百万円)

	金額			
	2020年 3月期 2Q実績	2021年 3月期 2Q実績	増減	増減率
日本	▲432	▲1,184	▲751	-
北米	395	▲1,315	▲1,710	▲432.8%
アジア	1,928	723	▲1,205	▲62.5%
合計	1,890	▲1,776	▲3,667	▲194.0%
調整	238	111	▲127	▲53.4%
連結	2,129	▲1,665	▲3,794	▲178.2%

シェア		
2020年 3月期 2Q実績	2021年 3月期 2Q実績	増減
▲20.3%	71.1%	91.4%
18.6%	79.0%	60.4%
90.6%	▲43.4%	▲134.0%
88.8%	106.7%	17.9%
11.2%	▲6.7%	▲17.9%
100.0%	100.0%	-

# セグメント別連結業績(日本)

## 売上高



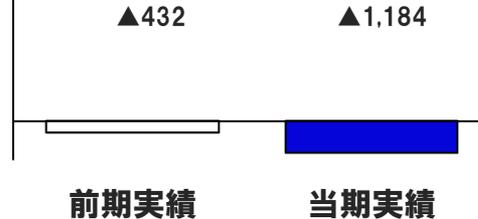
増減額	▲4,888
増減率	▲34.4%
為替影響	—
実質増減	▲4,888
増減率	▲34.4%

### 増減理由

	増減理由	
1	主要得意先製品売上減少	▲4,531
2	商品売上増加	238
3	技術収入売上減少	▲363
4	国内子会社売上減少	▲1,513
5	内部売上控除変化(Gr会社向け売上増減影響)	1,281
	合計	▲4,888

## 営業利益

(単位:百万円)



増減額	▲751
増減率	—
為替影響	—
実質増減	▲751
増減率	—

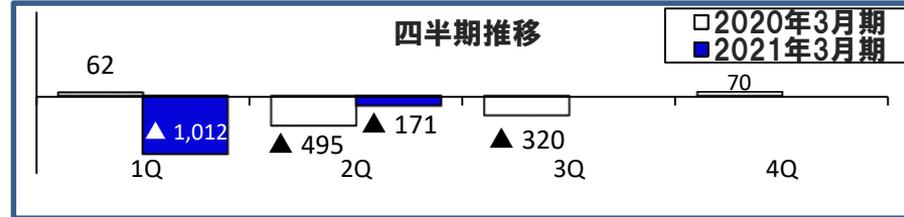
### 増減理由

	増減理由	
1	製品、商品、技術収入売上増減影響	▲1,035
2	経費削減効果	569
3	国内子会社売上減少影響	▲385
4	新型コロナウイルス感染症影響の固定費の特別損益振替	100
	合計	▲751

## 四半期推移



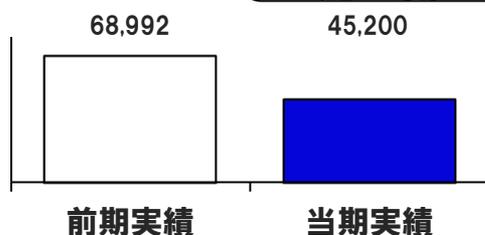
## 四半期推移



減収減益(新型コロナウイルス感染症影響が主要因。経費削減が大きく利益貢献、今後も継続)

# セグメント別連結業績(北米)

## 売上高

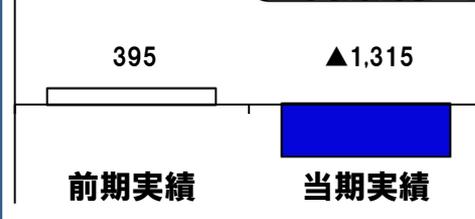


増減額	▲23,792
増減率	▲34.5%
為替影響	▲1,354
実質増減	▲22,438
増減率	▲32.5%

増減理由		
1	主要得意先製品売上減少(HM)	▲14,033
2	主要得意先製品売上減少(GM)	▲4,604
3	主要得意先製品売上減少(他)	▲3,063
4	商品売上減少	▲738
5	為替換算影響	▲1,354
合計		▲23,792

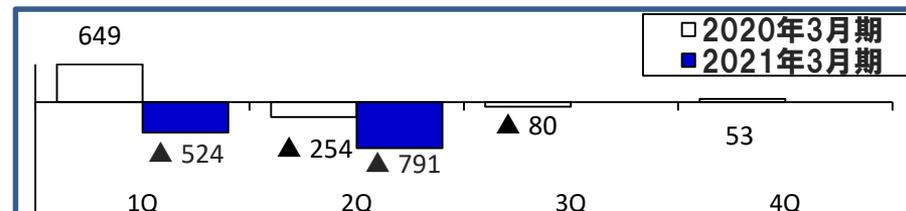
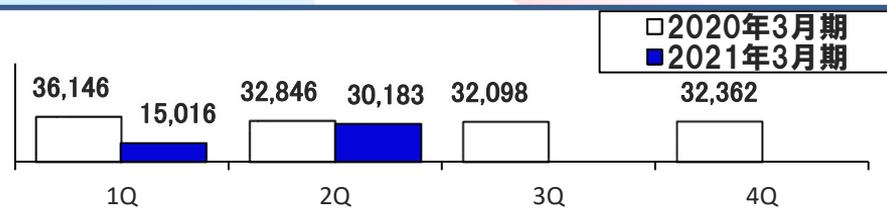
## 営業利益

(単位:百万円)



増減額	▲1,710
増減率	▲432.8%
為替影響	38
実質増減	▲1,749
増減率	▲442.7%

増減理由		
1	製品売上減少影響	▲3,733
2	商品売上減少影響	▲194
3	原価改善	464
4	新型コロナウイルス感染症影響の固定費の特別損益振替	1,714
5	為替影響	38
合計		▲1,710



減収減益(新型コロナウイルス感染症影響が主要因、2Qは期ずれのメキシコで同様な影響)

# セグメント別連結業績(アジア)

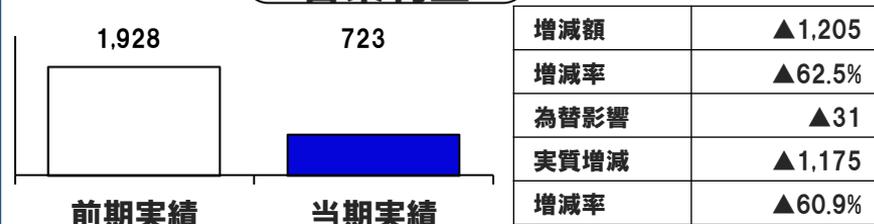
## 売上高



増減理由		
1	(中国)主要得意先製品売上減少	▲3,501
2	(ア大)主要得意先製品売上減少	▲4,082
3	(中国)ウインドレギュレータ事業分離影響	▲1,413
4	為替換算影響	▲1,072
5		
合計		▲10,068

## 営業利益

(単位:百万円)

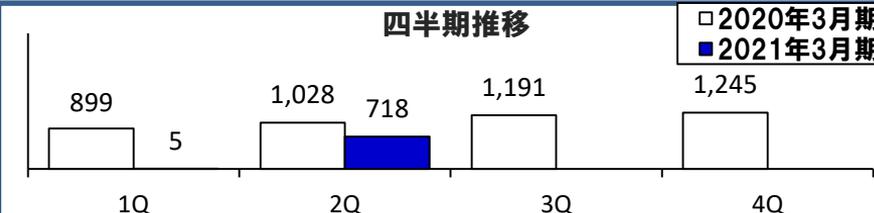


増減理由		
1	(中国)製品売上減少影響	▲1,548
2	(ア大)製品売上減少影響	▲723
3	原価改善	406
4	新型コロナウイルス感染症影響の固定費の特別損益振替	691
5	為替換算影響	▲31
合計		▲1,205

## 四半期推移



## 四半期推移



減収減益(新型コロナウイルス感染症影響が主要因、中国は2Qより挽回生産もア大は影響が続く)

# 営業利益増減要因

製品・商品

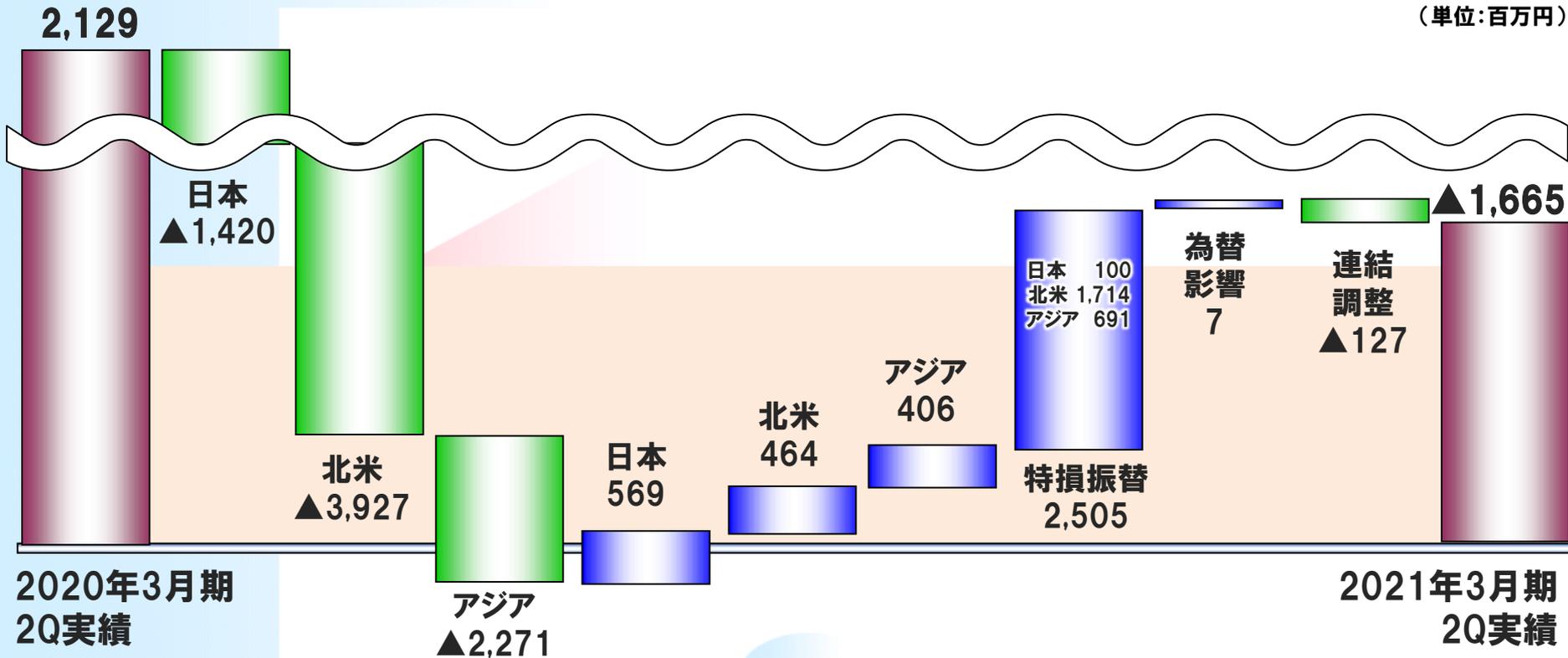
改善

コロナ

減益

増益

(単位:百万円)



# 第2四半期連結決算の状況～四半期別

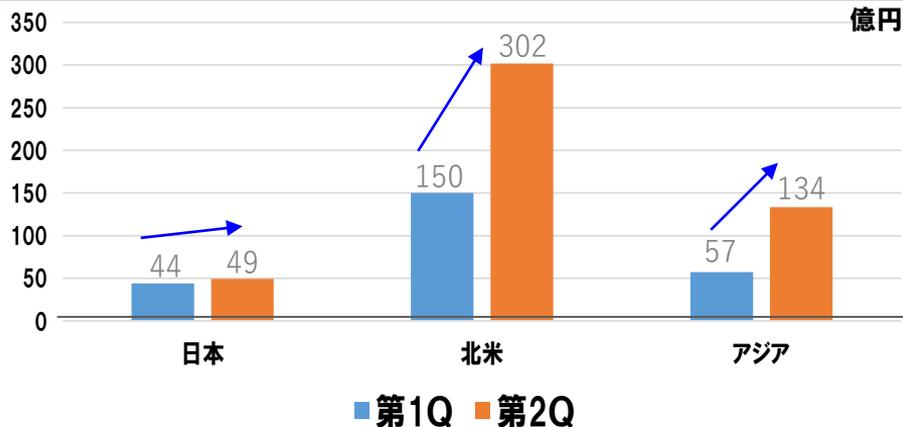
百万円

(百万円)	2021年3月期第2四半期		
	第1Q	第2Q	累計
連結売上高	25,141	48,464	73,605

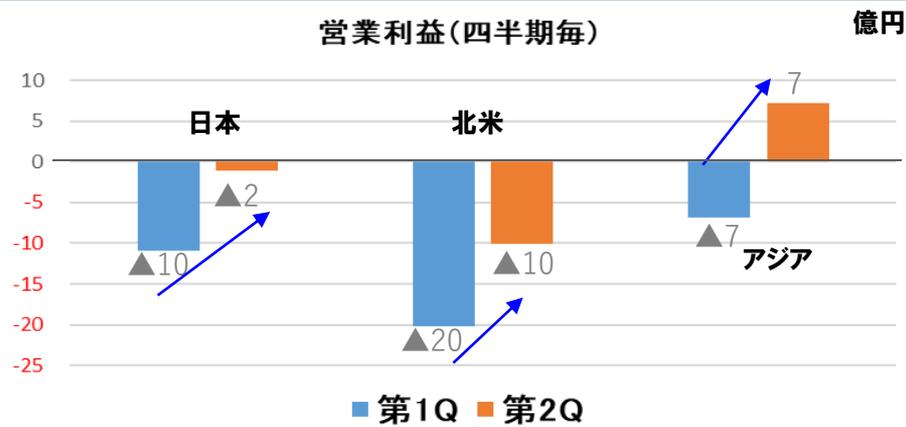
百万円

(百万円)	2021年3月期第2四半期		
	第1Q	第2Q	累計
連結営業利益	▲1,372	▲293	▲1,665

## 売上高(セグメント別・四半期別)



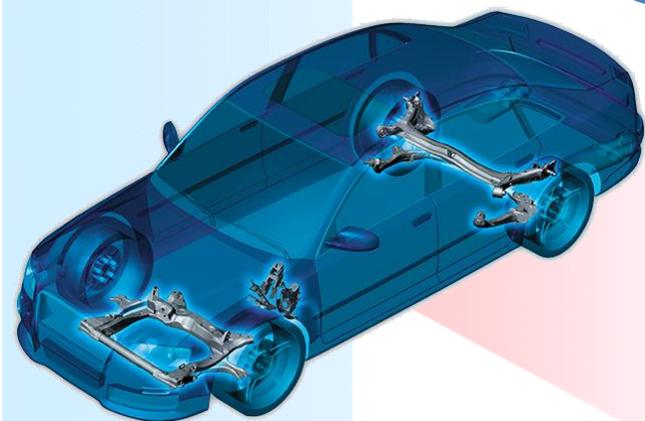
## 営業利益(セグメント別・四半期別)



※特別損失振替額(固定費)を経費に反映し表示

四半期ごとに比較すると

売上高は各セグメントで増加。営業利益はマイナスセグメントはあるものの良化傾向



1 決算概要

2 業績予想

3 経営戦略

4 トピックス

# 連結業績予想(2021年3月期予想)

(単位:百万円)

	2020年3月期 実績		2021年3月期通期 今回発表(8月6日)		増減	
売上高	218,712	100.0%	184,000	100.0%	▲34,712	▲15.9%
営業利益	4,088	1.9%	2,400	1.3%	▲1,688	▲41.3%
経常利益	2,764	1.3%	1,900	1.0%	▲864	▲31.3%
親会社株主に帰属する当期 純利益	328	0.2%	▲800	▲0.4%	▲1,128	▲343.6%
1株利益(円)	17.58	—	▲42.83	—	▲60.41	▲343.6%

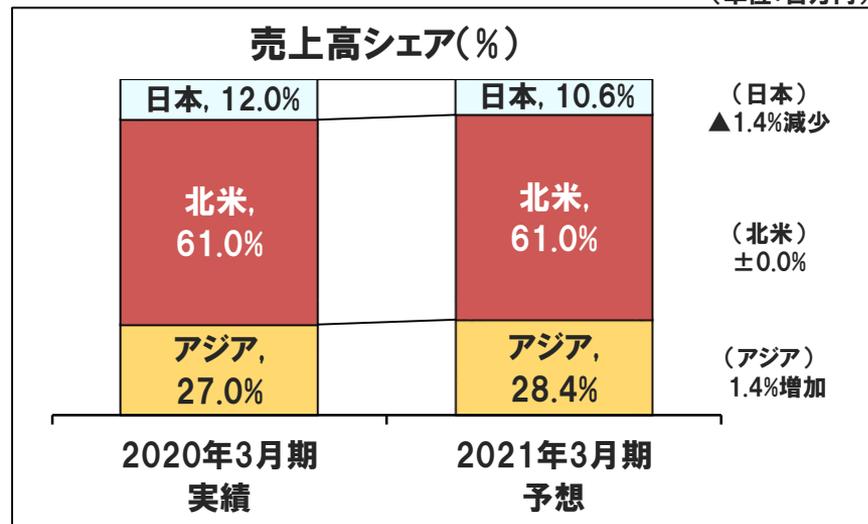
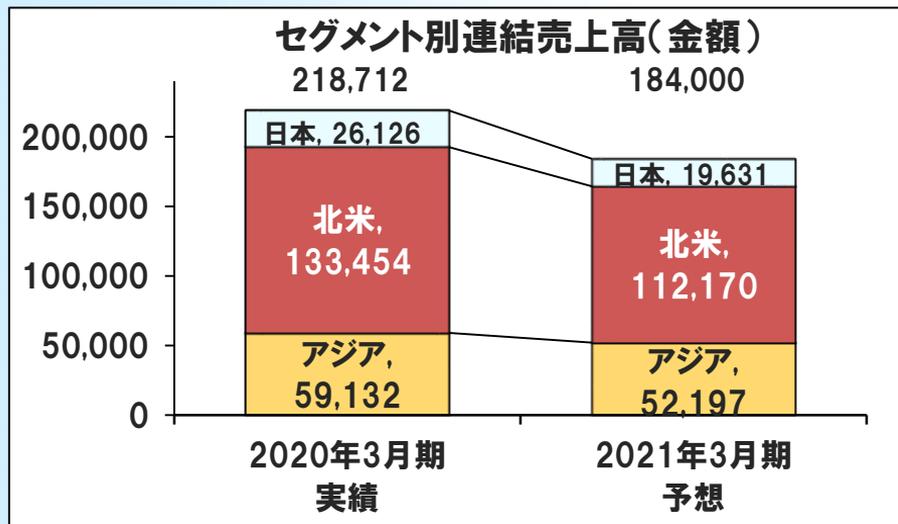
為替

	2020年3月期	今回発表	増減額
1US\$	108.95円	105.56円	▲3.39円
1CAN\$	81.67円	79.30円	▲2.37円
1人民元	15.82円	15.15円	▲0.67円

減収減益(新型コロナウイルス感染症影響)

# 連結売上高(2021年3月期予想)

(単位:百万円)



## 連結売上高増減

	'20年3月期	今回発表	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	26,126	19,631	▲6,494	▲24.9%	—	▲6,494	▲24.9%
北米	133,454	112,170	▲21,283	▲15.9%	▲3,416	▲17,868	▲13.4%
アジア	59,132	52,197	▲6,934	▲11.7%	▲2,079	▲4,856	▲8.2%
<b>連結</b>	<b>218,712</b>	<b>184,000</b>	<b>▲34,712</b>	<b>▲15.9%</b>	<b>▲5,495</b>	<b>▲29,218</b>	<b>▲13.4%</b>

減収(2Q以降の挽回生産影響により中国の減少率が低い)

# セグメント別営業利益(2021年3月期予想)

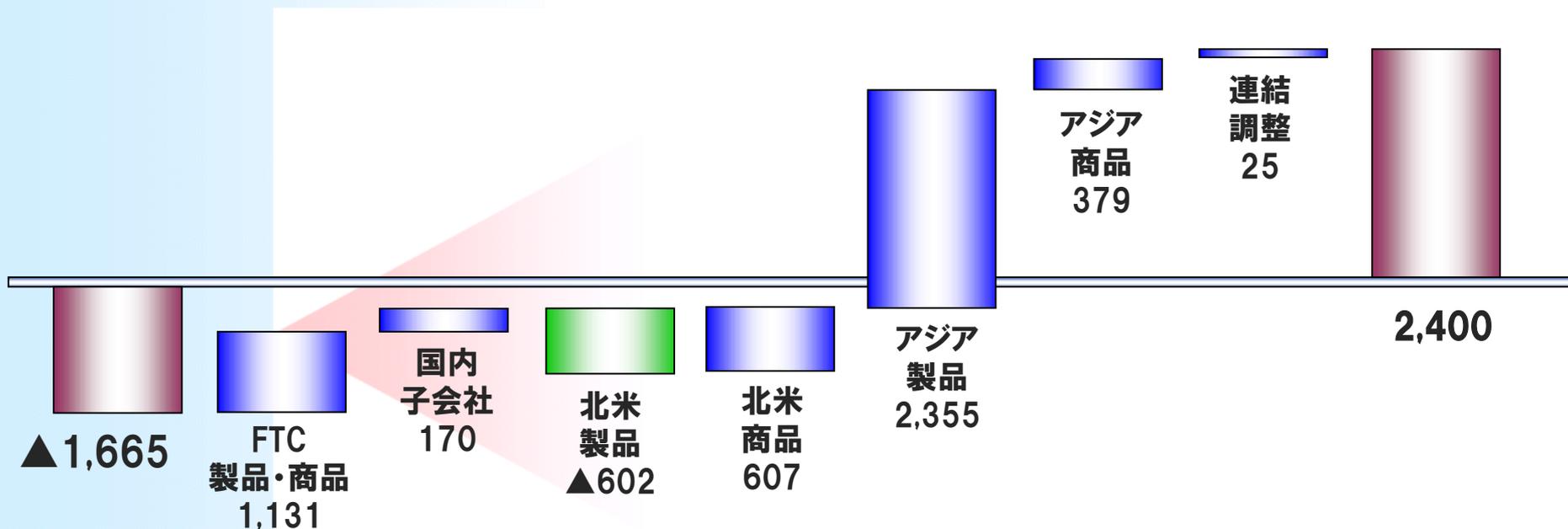
(単位:百万円)

	金額			
	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 発表	増減	増減率
日本	▲683	116	799	-%
北米	367	▲1,310	▲1,677	▲456.1%
アジア	4,365	3,457	▲908	▲20.8%
合計	4,050	2,263	▲1,787	▲44.1%
調整	37	136	98	263.3%
連結	4,088	2,400	▲1,688	▲41.3%

シェア		
2020年 3月期 実績	2021年 3月期 発表	増減
▲16.7%	4.9%	21.6%
9.0%	▲54.6%	▲63.6%
106.8%	144.1%	37.3%
99.1%	94.3%	▲4.8%
0.9%	5.7%	4.8%
100.0%	100.0%	-

# 営業利益推移(2Q実績→通期予想)

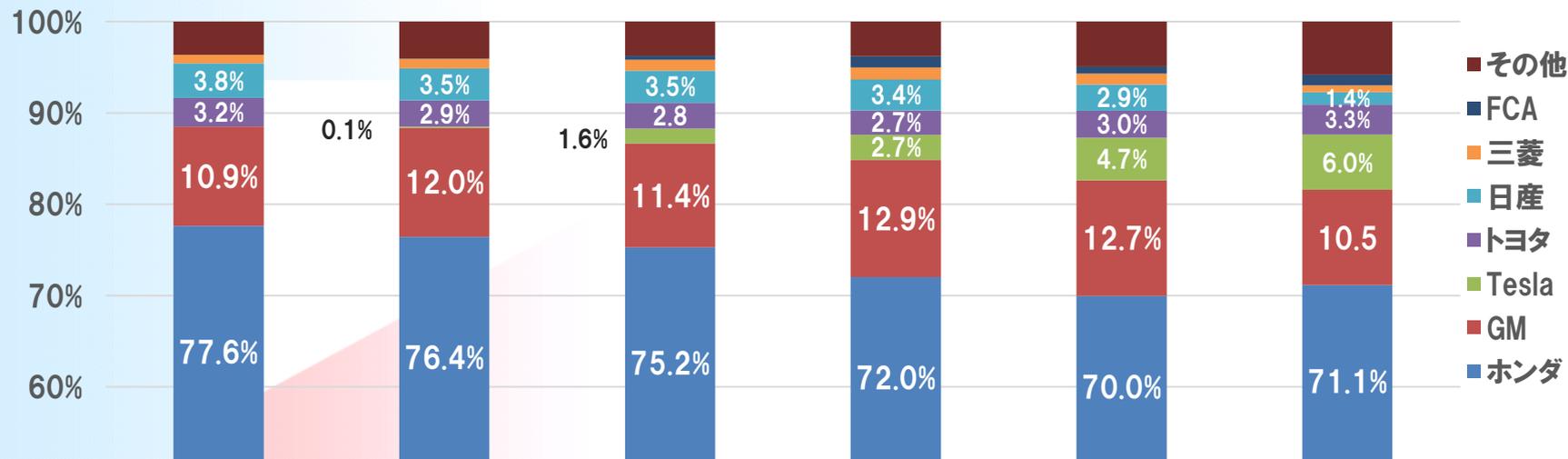
(単位:百万円)



2021年3月期  
2Q累計実績

2021年3月期  
通期予想

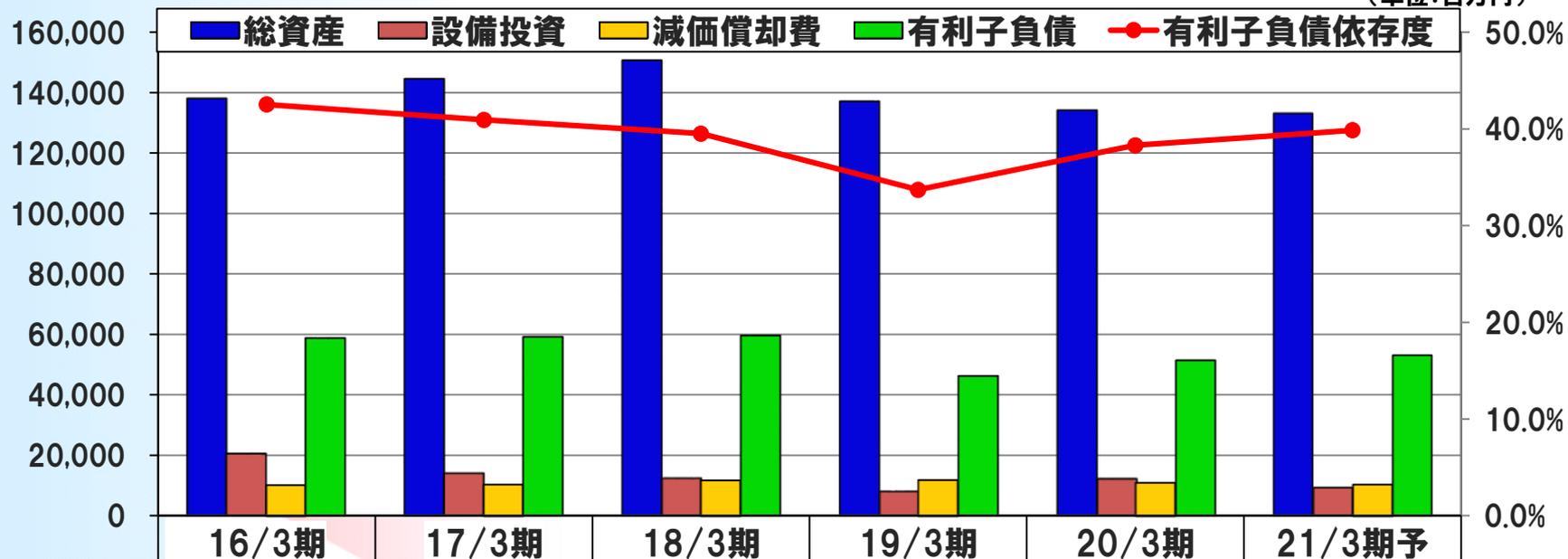
# 得意先別売上高の推移



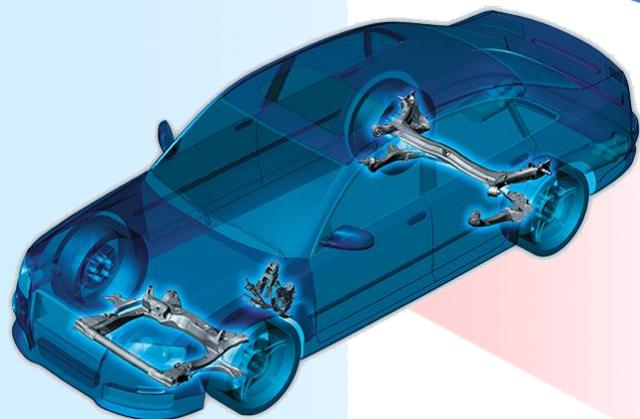
	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期 実績	21/3期 計画
ホンダ	152,435	151,282	170,089	169,512	153,004	130,884
GM	21,345	23,683	25,782	30,258	27,719	19,259
Tesla	—	247	3,661	6,443	10,211	11,094
トヨタ	6,204	5,658	6,428	6,300	6,471	6,058
日産	7,435	6,985	7,957	7,977	6,275	2,499
三菱	1,803	2,036	2,648	3,051	2,597	1,360
FCA	—	71	1,010	2,913	1,686	2,126
その他	7,121	7,979	8,485	8,907	10,749	10,720
	196,343	197,941	226,060	235,361	218,712	184,000

# 財務の状況

(単位:百万円)



	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期予
総資産	137,980	144,420	150,525	137,010	134,038	133,014
設備投資	20,578	14,094	12,435	8,056	12,238	9,355
減価償却費	10,081	10,335	11,666	11,720	10,890	10,279
有利子負債	58,686	59,129	59,510	46,220	51,342	53,030
有利子負債依存度	42.5%	40.9%	39.5%	33.7%	38.3%	39.9%



1 決算概要

2 業績予想

3 経営戦略

4 トピックス

## 会社方針 Back to Basics, Challenge for New

2017/3月期

2018/3月期

2019/3月期

2020/3月期

### 実績

連結売上高 1,979 億円  
 営業利益率 4.1%  
 有利子負債依存度 40.9%

健全なる財務体質  
 高収益企業の実現

### 目標

連結売上高 2,120 億円  
 営業利益率 5.0%  
 有利子負債依存度 35.0%

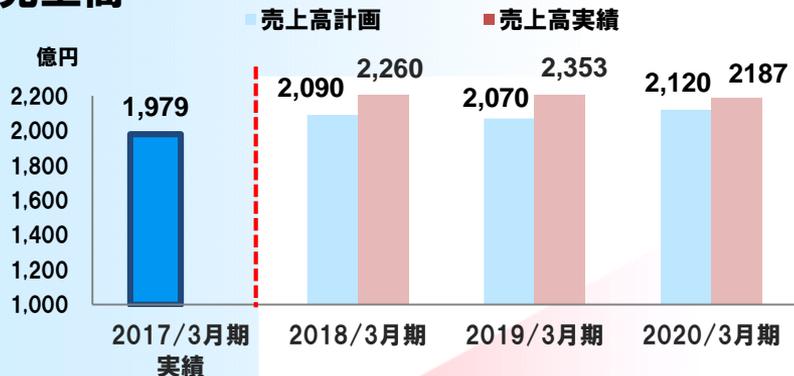
### Back to Basics

- お客様に最高の価値を提供する
- 生産拠点は、利益を最大化する
- 機能組織は、コストの最小化と生産拠点へ価値を提供する
- 健全な財務体質を構築する

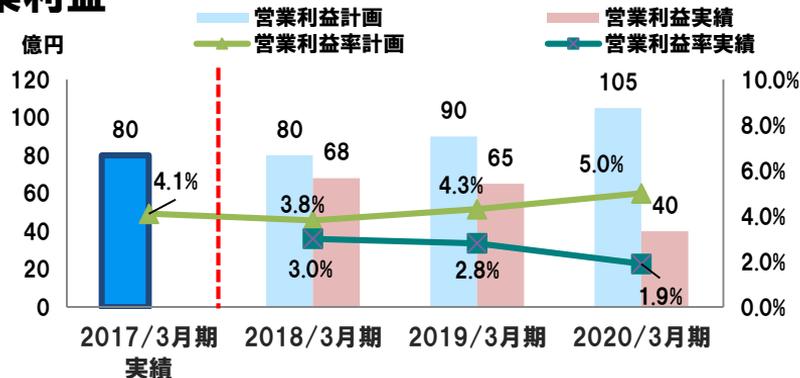
### Challenge for New

- 新規重要顧客を獲得、拡大する
- 画期的新製品を提案する
- 新技術・新加工方法を確立する
- 新規事業の企画・推進

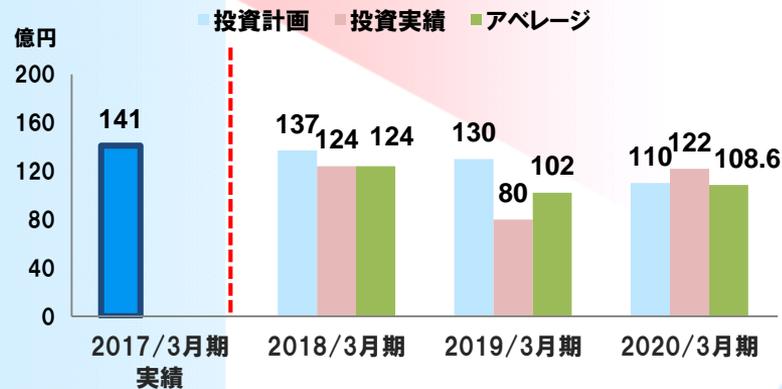
## 売上高



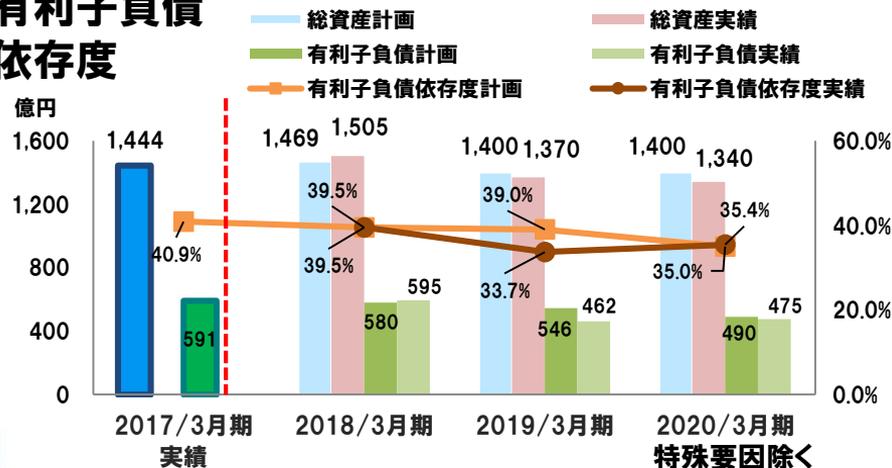
## 営業利益



## 投資計画



## 有利子負債依存度



## 第13次中期経営計画 3年目計画対実績

(億円)	中期経営計画	2020/3月期実績	達成
売上高	2,120	2,187	◎
営業利益	105	40	×
投資計画	110	3year Ave. 108.6	◎
有利子負債残高(特殊要因除き※)	490	475	◎
有利子負債依存度(特殊要因除き※)	35.0%	35.4%	△

※特殊要因: COVID-19対応での追加借入25億円、リース会計変更による増加額 13億円、計38億円を控除

- 売上高は、投資計画、有利子負債額、有利子負債依存度等もほぼ計画通り。
- 営業利益は計画比大幅未達となった。現在課題対応中。

## 日本、ア大地域

## 北米地域

発生した問題	課題	対応策
生産台数の伸び悩み	売上高の伸び悩み	現調化の動きへの対応 新規顧客の開拓 収益源泉の多様化
生産ラインの稼働率低下	固定費比率の上昇 減価償却負担の増加	固定費の削減 投資の削減
一人当たり付加価値の低下	労務費用の増加	間接業務の効率化 生産ラインの効率化 継続的改善活動

発生した問題	課題	対応策
コストアップ 労務費・外注費+付随	コスト削減	物流改善 外注の内製化 要員削減
ロスの増加 仕損/追加検査の発生	ロスの削減	製造精度改善 仕損の削減進展
生産効率低下 更なる外注の発生	生産効率アップ	生産効率の安定化 作業者の能力向上 自動化推進

- 得意先等の生産変化、外部環境変化あり
- 改善途上ではあるが各種改善策を進め徐々に効果発揮中

## 第13次中期経営計画

### 健全な財務体質改善

フリーキャッシュフロー  
運営の強化

有利子負債依存度  
ほぼ目標達成

### 高収益力の実現

顧客多様化により  
売上高の増加は実現

#### <事業環境変化>

- ・貿易環境・自動車市場変化
- ・労働市場逼迫

#### <内部環境変化>

- ・生産効率低下、コスト高

収益力向上は厳しい結果

## 第14次中期経営計画

全社方針： 限界突破！世界中のお客様へこだわりのBest Oneを

66期 (FY2020)

67期 (FY2021)

68期 (FY2022)

グループ効率の  
最大化を図る

#### 目標

- ・生産性 要員効率  
前年比▲1ポイント
- ・効率性 自動検査装置実績確認
- ・収益性 対売上廃却仕損費  
0.1%未満
- ・FCF 黒字化

エフテックGr全世界の全員が持つべき共通姿勢

# Better than Ever

Back to Basics  
～こだわりを極め～

- 全拠点の黒字化
- シミュレーションの進化
- 国内の再生

Challenge for New  
～新たな価値創造へ挑戦～

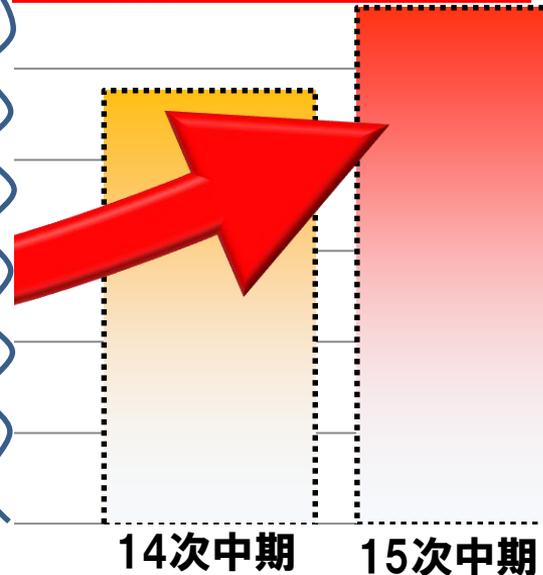
- 新たな柱となる顧客を確立
- 新たな地域への挑戦
- 新たなビジネスの創出

## 売上高

単位:百万円



**ホンダ/GM/トヨタ/スズキ、  
新興勢力のEVメーカーへの  
受注活動をグローバルに展開**



- **ホンダ/GM/トヨタ/スズキなどグローバル受注活動の強化**
- **EVメーカー(TESLA/RIVIAN)への開発・受注活動を強力に展開**

## 【多様な自動車メーカーのニーズへの対応】

“試作レス開発 (NPD)”

“優れた解析力”

“EV、FCVなど  
多様な機種への対応力”

各技術を強みとした  
強力な営業活動

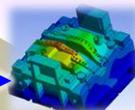
＜共創＞

素材メーカー  
Bodyメーカー



＜生産技術、品質＞

人と自動化の最適調和で  
ローコストオペレーションと  
高品質を実現



＜独自開発技術＞

人のノウハウとシミュレーション技術を  
融合し最適設計の実現



＜EV対応技術＞

＜軽量化＞



自動車メーカーごとのニーズに応じて、最適案を提案

<p><b>CG 内部統制</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>○企業価値向上に繋がる新たなガバナンス体制への進化 ・統制や意思決定の最適化、スピードアップの実現</li><li>○リスク管理、コンプライアンス、CSRの最適化</li></ul>
<p><b>財務 収支・投資管理</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>○会計基準グローバル化への対応(収益認識の方針明確化)</li><li>○収支・投資管理の体制整備、新たな資金調達手法への取組</li></ul>
<p><b>人材育成・活躍</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>○グローバルでの人材採用・育成・人材管理プログラムの展開、働き方改革への対応 ・海外人材の採用方法多様化、国内外技術の高位平準化(熟練技術者による訓練展開) ・技術・能力ストックのグローバル管理(管理環境の構築含む)</li></ul>
<p><b>プロセス改革</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>○間接部門の業務改革で「1/2のコストで新たな競争力の創出」を実現</li></ul>

**迅速な意思決定と適材適所の人材活躍で収益管理体制の確立**

## 第14次中期計画

技術  
開発  
営業

### 独自開発技術の進化

人のノウハウ・シミュレーション  
技術の融合し最適設計実現

### 共創による 新たな価値創造

EV対応技術・軽量化

### 強力な営業活動

新たな価値を背景に新規  
得意先・地域を開拓

### 強固な収益体質確立

ガバナンス強化と  
人材の適材適所

## 新型コロナウイルス影響

### <自動車メーカー>

- ・生産計画を下方修正
- ・新機種量産スケジュール遅延
- ・コストダウンの積極化

### <当社の活動面>

- ・海外出張不能
- 得意先、取引先、海外拠点  
への訪問中止

- ・施策取り組み遅延
- ・拠点業績の下振れ
- ・コスト削減を優先的  
に展開

## 当社の方向性

新型コロナウイルス影響を踏まえ  
今やるべきことに注力

コスト削減  
投資の抑制  
施策の取捨選択

第14次中期経営計画  
の計数は新型コロナウイルス影響  
を見極めたうえで開示を  
行う予定

# 新型コロナ禍における各地域の状況

地域	コロナ影響期間		回復状況※1	3Q以降の状況 ※2
	稼働停止	稼働再開		
中国	1月下旬※3	中山:2月上旬 武漢:3月上旬	100%超	100%超
北米	3月下旬	カナダ:5月上旬 アメリカ:5月上旬 メキシコ:5月下旬	70%程度※4	100%程度
日本	4月下旬	5月上旬	70%~80%	100%程度
アジア	タイ:停止せず フィリピン:3月下旬 インドネシア:4月上旬	タイ:客先に合わせ稼働 フィリピン:4月上旬 インドネシア:6月下旬	60%程度	80%程度

※1:対前年2Q比(台数ベース)

※2:対前年3Q比(台数ベース)

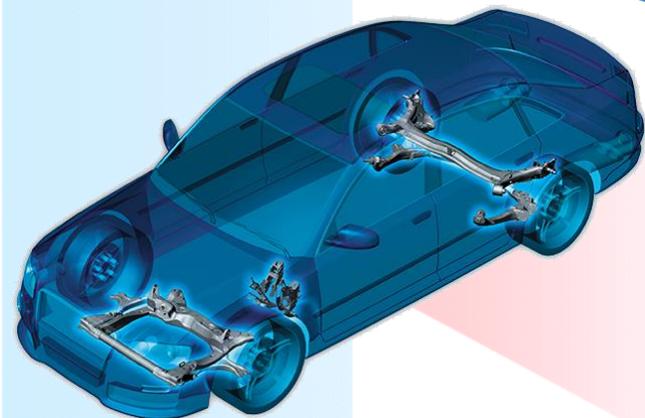
※3:春節連休から

※4:メキシコは12月決算でコロナ影響のピークは2Qとなり、アメリカ、カナダの回復分を相殺

9月30日時点

**新型コロナウイルス感染症の影響により、生産台数は昨年に比べ大幅に減少しており、現状は2020年度計画の達成に向け鋭意努力しております。**

**第14次中期経営計画の計数目標は次回の決算説明会(21年5月)で開示できるよう努めてまいります。**



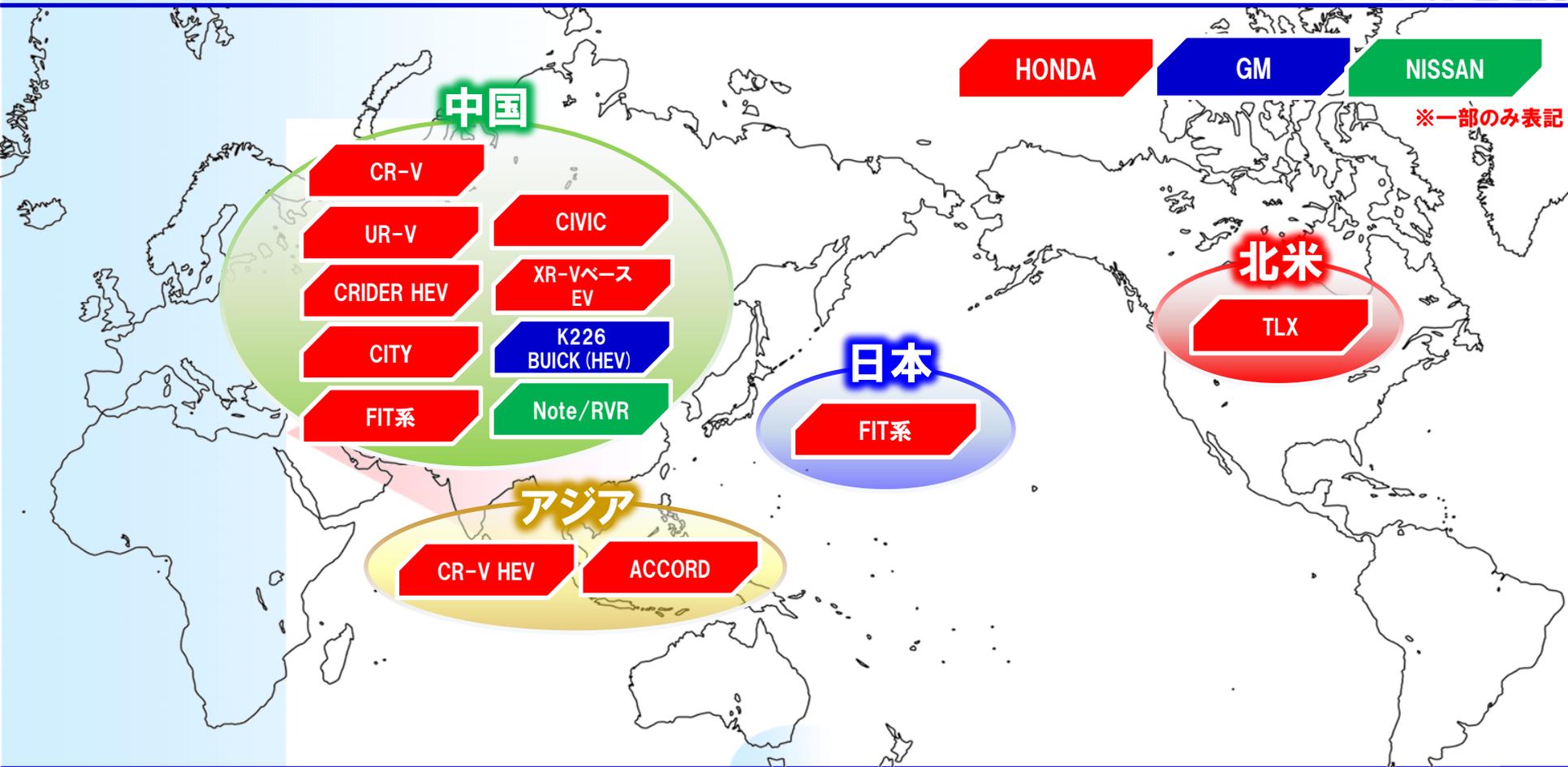
1 決算概要

2 業績予想

3 経営戦略

4 トピックス

# 生産状況 ~2021年3月期上期(4~9月)生産開始新機種~



**北米**

**日本**

**アジア**

**トヨタ車  
足廻り部品受注**

**トヨタ車  
足廻り部品受注**

**トヨタ車  
足廻り部品受注**

北米向けの製品は、当社が開発設計を行っております  
北米、日本、アジア地域で足廻り部品を受注！

※19年11月プレスリリース

上記に次ぎ、トヨタ自動車様より新たに新機種部品を受注！  
グローバルで足廻り部品の受注活動を強化し、更なる取引拡大に注力していく

# 14次中期経営計画の具現化（インド VEE GEE社への資本参加）

会社名称	VEE GEE Auto Components Private Limited (ヴィージー・オート・コンポーネンツ・プライベート・リミテッド)
所在地	インド グジャラート州 アーメダバード
出資額	342,940,000 INR(インドルピー)(約488百万円※)
出資比率	VEE GEE INDUSTRIAL ENTERPRISES PVT.LTD. 74% 株式会社エフテック 26%
出資後の資本金	993,740,000 INR(約1,414百万円※) 最終出資後
事業内容	自動車部品(ボディ部品、ペダル部品、シャーシ部品)の製造・販売
主な客先	スズキ・モーター・グジャラート社



※1INR=1.4229(2020年9月24日時点の為替レート)にて換算

## インド事業を北米、中国に続く第3の柱とする

## 【品質への取り組み】



品質優良賞

F&P MFG DE MEXICO,  
S.A. DE C.V.

### ■ GM MEXICO様より受賞

今後も従業員一人一人が品質意識を高め、  
お客様の満足に依っていく

### ■ 文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞

久喜（2年連続）/亀山両事業所（3年連続）から受賞

## 【生産技術向上への取り組み】



久喜  
2年連続受賞

文部科学大臣表彰  
創意工夫功労者賞



亀山  
3年連続受賞

## 社会貢献

### 【マスク寄贈活動】



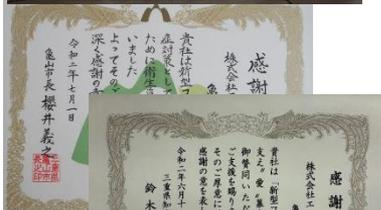
埼玉県庁 (8,000枚)



久喜市役所 (10,000枚)



FTWからの心のお返し



三重県と亀山市  
からの感謝状

計 33,000枚  
寄付させていただきました

## ワークライフバランス

### 令和2年度

### 亀山市ワークライフバランス推進賞 受賞

### 【評価項目】

- 有休取得日数(取得率)
  - 育児休業制度利用者数(取得率)
  - 介護休業制度利用者数(取得率)
  - 長時間労働削減取り組み
  - 年次有給休暇取得推進への取り組み
  - 男女が共に働きやすい職場環境づくりに向けた取り組み
- 一部抜粋 など

厳しい環境ではあるものの、一日でも早く、安心な日常生活と  
活力ある社会経済活動を取り戻していくための活動を続けてまいります

- ✓ 2020年1月に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により世界各国で移動制限など感染拡大防止策がとられており、自動車業界においても自動車生産の停止及び自粛ムードによる自動車需要の低下の可能性が生じております。グローバルで事業を展開している当社グループにおいてもこうした影響を受け、製品生産・販売の停止が生じました。
- ✓ 当社グループにおいては、従前より設備投資の抑制、コスト低減のため、汎用化設備を投入し、生産アロケーションをフレキシブルに変更することが可能な体制を構築してきました。
- ✓ 今般の新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、今後も状況変化を的確に捉え、スピーディに対応することで、得意先への供給責任を果たせるよう努めてまいります。

# ご清聴ありがとうございました



本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績と記述としている将来見通しは、大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

IR情報のお問い合わせ、取材申し込みは

**株式会社エフテック** 管理本部 総務部/経理部

代表TEL 0480-85-5211

Mail [webmaster@ftech.co.jp](mailto:webmaster@ftech.co.jp)

# Appendix

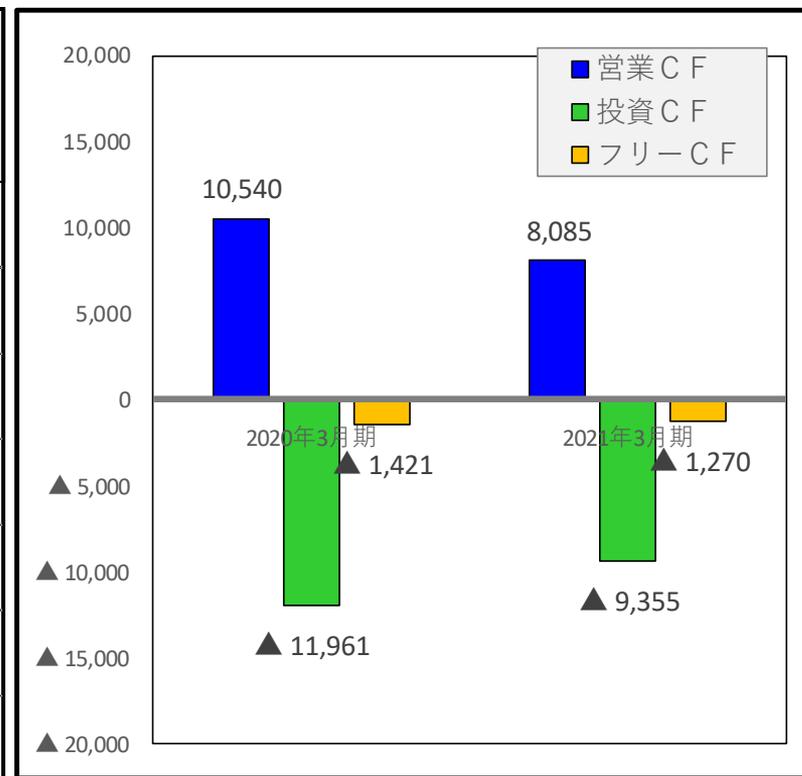
# Appendix ~連結貸借対照表(2020年3月期末実績)~

	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	増減
現金及び預金	8,880	7,571	▲ 1,309
受取手形・売掛金	27,955	28,955	1,000
棚卸資産	19,094	19,094	0
その他	3,028	3,236	208
<b>流動資産</b>	<b>58,957</b>	<b>58,856</b>	<b>▲ 101</b>
有形固定資産	66,714	65,242	▲ 1,472
無形固定資産	363	363	▲ 0
投資その他資産	8,004	8,553	549
<b>固定資産</b>	<b>75,082</b>	<b>74,158</b>	<b>▲ 924</b>
<b>総資産</b>	<b>134,039</b>	<b>133,014</b>	<b>▲ 1,025</b>

有利子負債残高	51,342	53,030	1,688
有利子負債依存度	38.3%	39.9%	1.6%

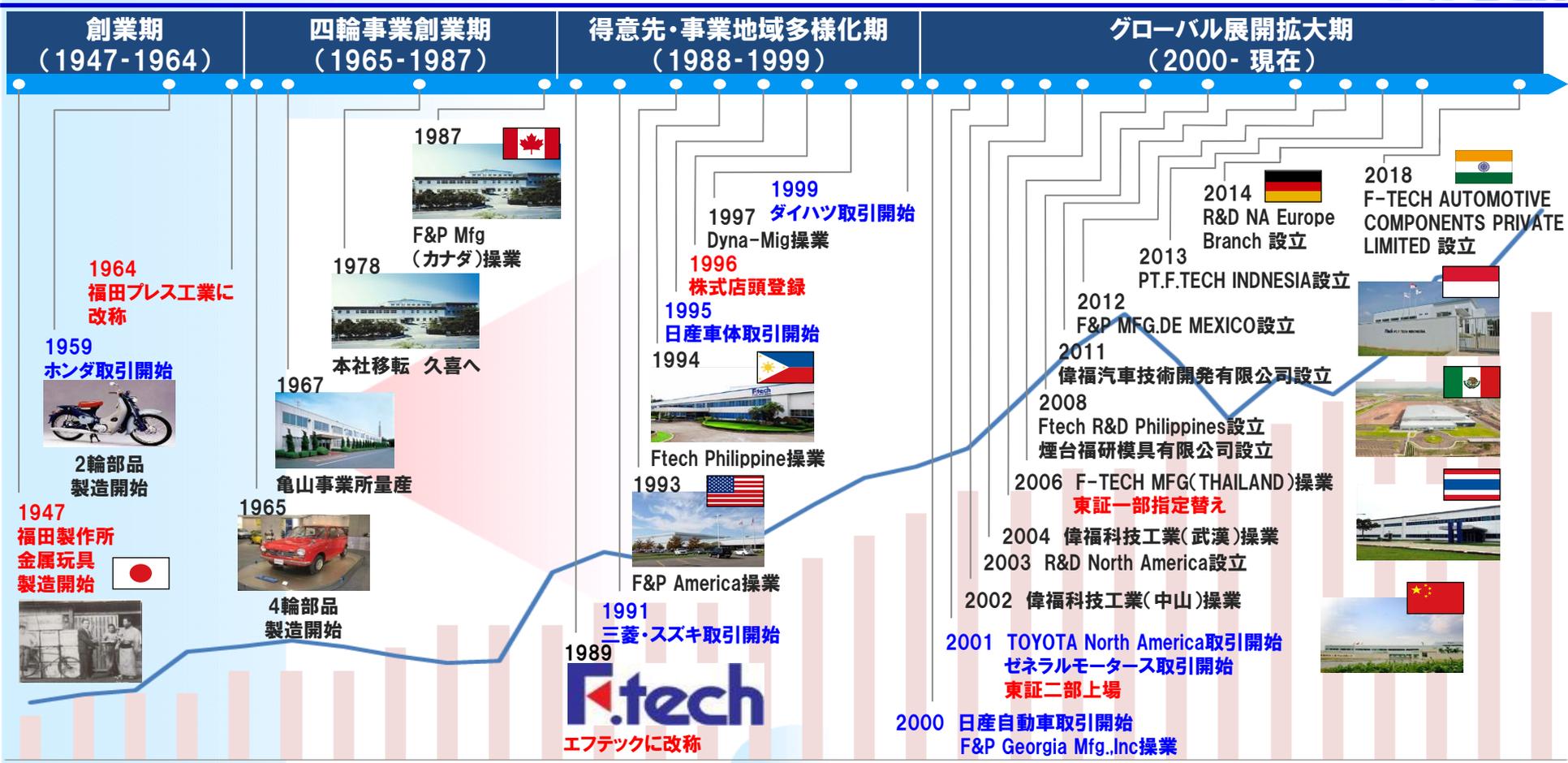
	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	増減
支払手形・買掛金	17,427	17,250	▲ 177
短期借入金	20,396	21,971	1,575
1年以内長期借入金	9,740	8,194	▲ 1,546
その他	7,850	7,640	▲ 210
<b>流動負債</b>	<b>55,413</b>	<b>55,055</b>	<b>▲ 357</b>
長期借入金	19,147	21,108	1,961
その他	5,186	4,363	▲ 823
<b>固定負債</b>	<b>24,333</b>	<b>25,471</b>	<b>1,138</b>
<b>負債合計</b>	<b>79,746</b>	<b>80,526</b>	<b>781</b>
株主資本合計	41,914	40,109	▲ 1,805
その他包括利益累計	▲ 1,778	▲ 1,778	0
非支配株主持分	14,157	14,157	0
<b>純資産合計</b>	<b>54,293</b>	<b>52,488</b>	<b>▲ 1,805</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>134,039</b>	<b>133,014</b>	<b>▲ 1,025</b>

	2020年3月期	2021年3月期	増減
	実績	予想	
営業活動キャッシュフロー	10,540	8,085	▲ 2,455
投資活動キャッシュフロー	▲ 11,961	▲ 9,355	2,606
財務活動キャッシュフロー	3,346	185	▲ 3,161
現金及び現金同等物に係わる換算差額	▲ 236	▲ 223	13
現金及び現金同等物の増減額	1,688	▲ 1,309	▲ 2,997
現金及び現金同等物の期首残高	7,192	8,880	1,688
現金及び現金同等物の期末残高	8,880	7,571	▲ 1,309



会社名	株式会社エフテック	
市場区分	東証一部(7212)	
資本金	67.9億円	
代表者名	代表取締役社長 福田祐一	
売上高(連結)	2,187億円(2020年3月期)	
従業員数(連結)	8,750人(単体:1,077人) ※単体:国内エフテックのみ(子会社、海外駐在員含まず)	
設立年月日	1947年7月1日	
本社所在地	〒346-0194 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼19番地	
主要取引先	本田技研工業株式会社、ゼネラルモーターズ社、 日産自動車株式会社、トヨタ自動車株式会社、etc.	
主要製品	自動車向け足廻りサスペンションアーム、 サブフレーム、アクスルビーム、ペダルコントロール等	

2020年3月末現在

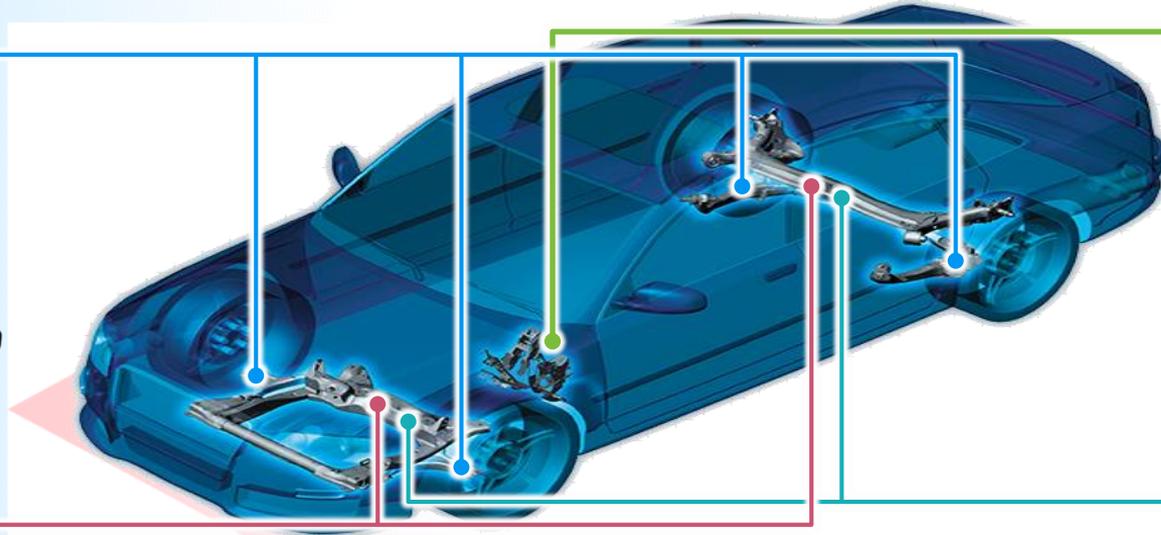




サスペンション  
部品



マウント部品



コントロール部品



当社の製品は、「走る」・「曲がる」・「止まる」の基本機能を司る、重要保安部品であり、より高い操縦安定性や乗り心地、衝突時の安全性を考慮した最適仕様を目指しています。

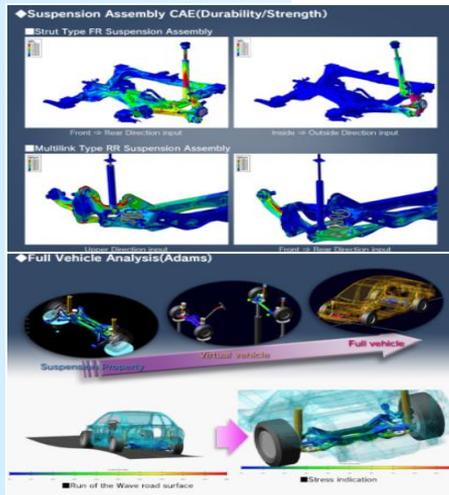
製品開発

塑性成形

接合

塗装

組立



製品の企画開発から量産まで、全工程を独自の一貫加工体制で対応、  
圧倒的に競争力の高い製品をスピーディーに提供しています。

## ●【国内事業所】

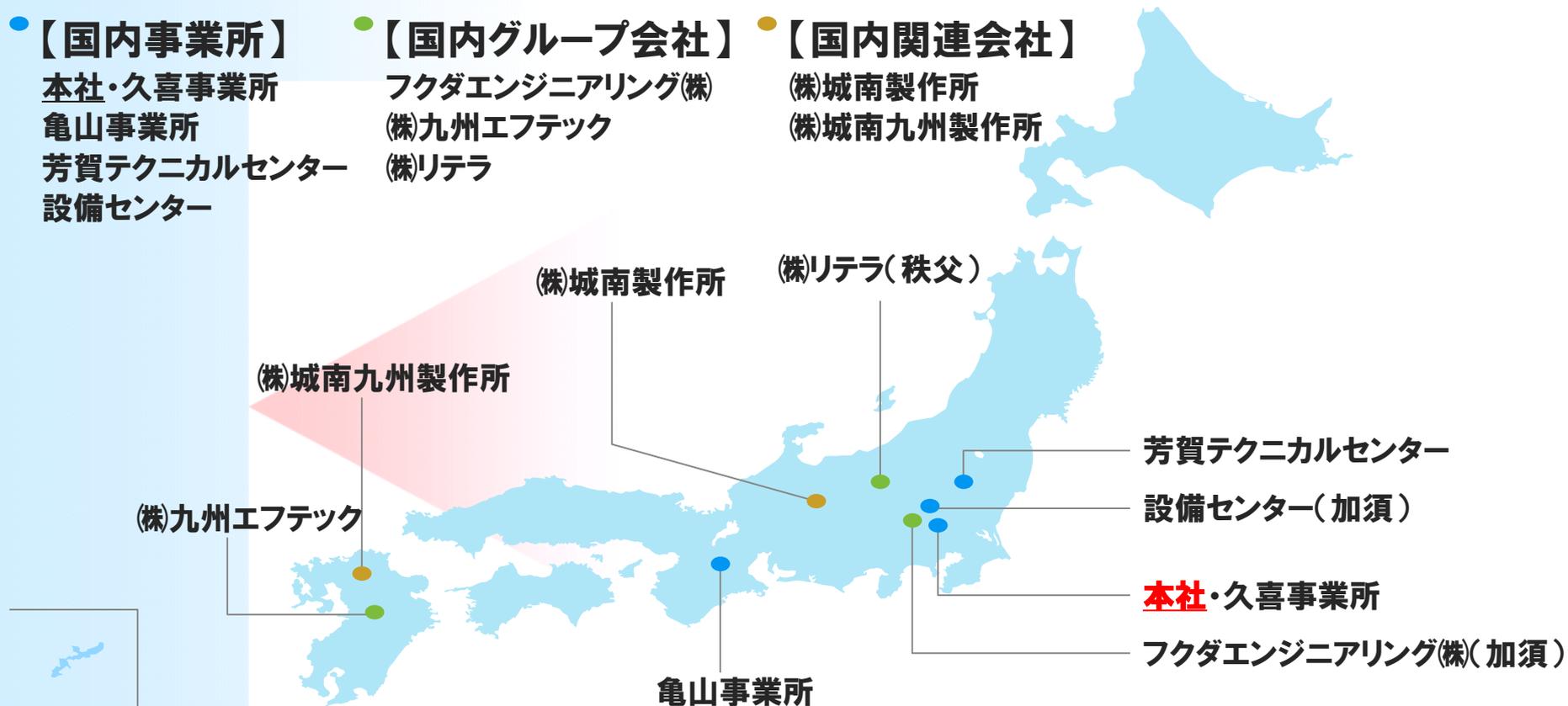
本社・久喜事業所  
亀山事業所  
芳賀テクニカルセンター  
設備センター

## ●【国内グループ会社】

フクダエンジニアリング(株)  
(株)九州エフテック  
(株)リテラ

## ●【国内関連会社】

(株)城南製作所  
(株)城南九州製作所





世界10カ国11生産拠点、8研究・技術開発拠点を有しています。



7か国・1地域での提携関係により、当社製品の世界供給体制を構築



会社名称	VEEGEE INDUSTRIAL ENTERPRISES Pvt. Ltd.
設立	1990年
従業員	約1400名
主要製品	各種プレス加工、サブアンセンプル、チューブ/パイプ溶接など
主要顧客	ホンダ、スズキ、GM、TATA、オートリブ、シュナイダーなど
事業内容	自動車部品(ボディ部品、ペダル部品、シャーシ部品)の製造・販売